

【主要戦績】 男子形 喜友名諒

所属：沖縄劉衛流空手・古武道龍鳳会 1990.7/12生

主な記録まとめ

- 【世界選手権】 出場4度（金3・銅1、3連覇中）
- 【アジア選手権】 出場5度（優勝4回）
- 【プレミアリーグ・シリーズA】 優勝22回
- 【国際試合連勝記録】 96試合（2014年～2018年2月）
- 【'18年7月～東京五輪予選シリーズ】 11大会出場（全試合優勝）
- 【ワールドゲームズ】 出場2度（金1・銅1）
- 【アジア競技大会】 出場1度（金1）
- 【全日本選手権】 8連覇（2012～19史上最多タイ）



1990

7/12 誕生
沖縄県沖縄市に生まれる

1995

5歳
幼稚園のとき友達が空手をやっている、稽古を見学して興味を持ったのがきっかけ

2004

中学2年生
第12回全国中学生選手権（全中）個人形優勝

★世界選手権で劉衛流の先輩が女子団体形で世界一に

2005

中学3年生
★劉衛流に入門。
佐久本嗣男先生に師事する

2006

興南高入学
高校1年生
全日本大会出場なし

2007

高校2年生
第26回全国高校選抜）3回戦敗退

2008

高校3年生
第27回全国高校選抜）3回戦敗退
第35回インターハイ 3回戦敗退
第63回おおいの国体）少年形5位

★世界選手権で劉衛流の先輩が女子団体形で世界一に

2009

沖縄国際大学入学
大学1年生
第64回新潟国体）成年形 初戦敗退

2010

大学2年生
★金城新・上村拓也と組む男子団体形でナショナルチーム初合格
第54回全日本学生選手権3位
第65回千葉国体）成年形5位
第38回全日本選手権5位

2011

大学3年生
★個人形でナショナルチーム初合格
第55回全日本学生選手権優勝
★中学以来の日本一
第54回全日本大学選手権団体形2位
第39回全日本選手権2位

2012

大学4年生
第2回東アジア選手権 優勝
★国際大会初優勝
第55回全日本学生選手権優勝（2連覇）
プレミアリーグジャカルタ3位
★ディアスに惜しくも負け
第8回世界学生（スロバキア）2位
★ダミアンに負け
第21回世界選手権（パリ）3位
第40回全日本選手権 優勝
★全日本初優勝



2013

沖縄国際大学卒業
劉衛流龍鳳会所属
ワールドゲームズ（コロンビア）3位
★ディアスに負け
第68回東京国体）成年形優勝（国体初優勝）
ワールドコンバットゲームズ（ロシア）2位
第12回アジア選手権（ドバイ）3位
★まさかのアジアで負け

2014

プレミアリーグ沖縄 優勝
★地元初開催のプレミアリーグで優勝。世界選手権への弾みに
第69回長崎国体）成年形優勝（2連覇）
第22回世界選手権（ドイツ）優勝
★念願の初の世界一
第42回全日本選手権優勝（3連覇）

2015

★空手東京五輪採用へのPRポスターモデルに
第13回アジア選手権（横浜）個人・団体W優勝
第70回わかやま国体）成年形優勝（3連覇）
プレミアリーグ沖縄優勝
第43回全日本選手権優勝（4連覇）

2016

プレミアリーグパリ 優勝
★空手 東京五輪採用決定
プレミアリーグ沖縄 優勝
第71回岩手国体）成年形2位
第23回世界選手権（オーストリア）個人2連覇 団体初優勝
★目標としていた団体との両方の世界一を獲得

2017

プレミアリーグパリ 優勝
★形アーナンドイを公式戦初演武
第14回アジア選手権（カザフスタン）個人2連覇・団体2連覇
ワールドゲームズ 優勝
★世界2冠達成
プレミアリーグベルリン 優勝
シリーズA トルコ優勝
シリーズA ザルツブルク優勝
シリーズA 沖縄優勝
第45回全日本選手権優勝（6連覇）

2018

プレミアリーグパリ 優勝
プレミアリーグドバイ 2位
★国際試合連勝記録が96で止まる
プレミアリーグトルコ 優勝
第15回アジア選手権（ヨルダン）個人3連覇・団体3連覇
第18回アジア競技大会（ジャカルタ）優勝
プレミアリーグベルリン 優勝
プレミアリーグ東京 優勝
★PL年間王者に
第24回世界選手権（マドリッド）個人3連覇・団体2連覇
★全試合5-0の完全優勝で、佐久本先生の世界選手権3連覇に並ぶ

2019

プレミアリーグパリ 優勝
★形ルールが点数制にオーハンダイを初演武
プレミアリーグドバイ 優勝
プレミアリーググラト 優勝
プレミアリーグ上海 優勝
第16回アジア選手権（ウズベキスタン）個人4連覇 団体4連覇
プレミアリーグ東京 優勝
★佐久本先生がコーチ席に
プレミアリーグロシア 優勝
★PL年間王者2連覇

2020

プレミアリーグパリ 優勝
★決勝のアーナンドイで審判の一人が10点満点を出す（史上初）
★2018年7月からのオリンピック予選シリーズで無敗
第48回全日本選手権優勝（9連覇＝最多記録更新）

2021

主な演武形名と特徴

- ★アーナンドイ
手数が多い形で、貫手、一足二拳（1歩進む時に2つ手技を出す）の技が多い。四方に連続蹴りをする所も難しい。
- ★オーハンダイ
手数が多い形で、一歩出る間に突き・受け・貫手の3つの技を極めたり、同じ足で前蹴りから足刀へ転じたりと、より繊細さとバランス感覚が求められる。
- ★オーハン
手技と前進を一気に連続させ、相手にひと呼吸つかさず一気に追いやる動きが特徴。
- ★アーナン
劉衛流の特有的な動きが多い形のひとつ。ジグザグで前進、喉を掴むなど、実戦的な動きを正しく演武することが重要。



劉衛流の歴史と特徴

沖縄の仲井間家に門外不出で受け継がれてきた流派。だが1970年、4代・憲孝氏が公開に踏み切り、佐久本嗣男・道統五世を弟子にとる。佐久本が国際大会で活躍したことで世界に一気に普及する。技術的特徴は、沖縄空手の伝統的な身体操作から出る力強さ。また1歩進むうちに2つの手技を出す「一足二拳」の間合いで、一気に相手を倒す意味が強い。

